

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-65	中学校	道 徳	道 徳	第 1 学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 725 道徳 726	中学道徳 中学道徳	あすを生きる 1 あすを生きる 1	道徳ノート

1. 編修の基本方針

—子どもたちが誇りをもって、よりよくあすを生きるために—

小学校で生きる力を育ててきた子どもたちが、
中学校3年間で、道徳科の学びを一つずつ積み上げながら、自信をつけていく。
そして、一人ひとりが生きる喜びと誇りをもって、
他者と共に社会を創造していけるように……。
私たちは、そのたすけとなることを願ってこの教科書を編修しました。

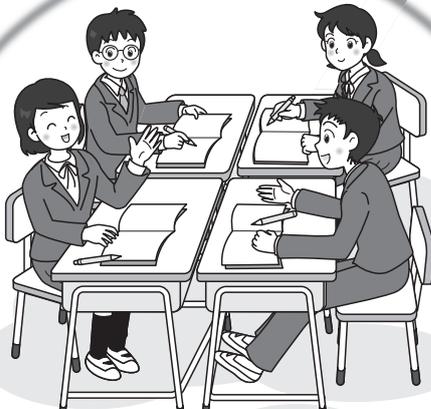
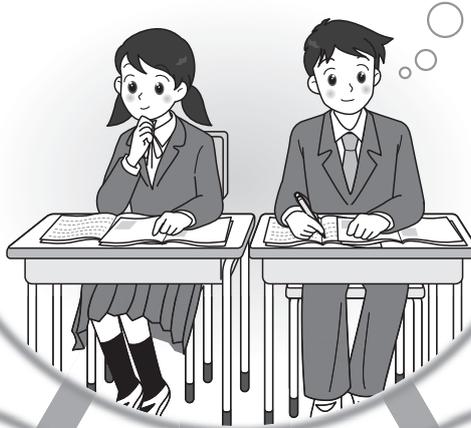
「教育基本法 第2条 教育の目標」を実現するために、次の基本方針を定めました。

基本方針

1

主体的な学びを！

自ら考え、学び、一人ひとりが誇りをもった
生き方ができるようサポートします。(第2条1,2)



基本方針

2

授業に躍動感を！

「考え、議論する」道徳科となるよう、
対話的な学びをサポートします。
(第2条1,2,3)

基本方針

3

社会を創造する道徳教育を！

「いま」・「これから」の社会の課題にしっ
かり対応し、深い学びをサポートします。
(第2条1,2,3,4,5)

主体的な学びを！

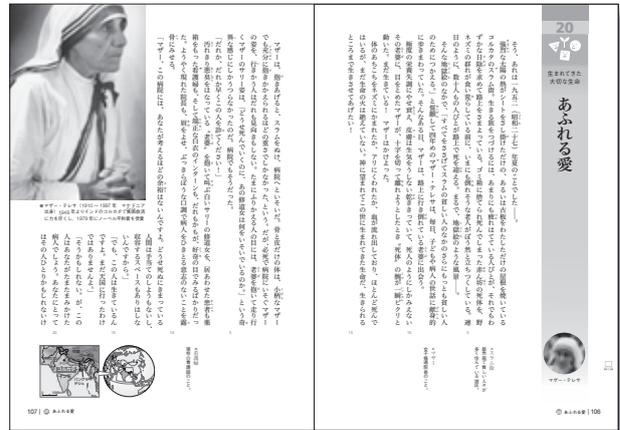
——自ら考え、学び、一人ひとりが誇りをもった生き方ができるようサポートします。

1 「こんな生き方もあるんだ！」 ——感動・共感・思考を喚起する教材

人間が、時に見せる弱さや苦悩、奮起する強さや気高さ……。生徒に新たな発見をもたらし、一人ひとりが、人間としての誇りある生き方を考えたくなる——そんな教材を選定しました。



(p.110 ~ 111)



(p.106 ~ 107)

2 「よりよい自分になりたい！」 ——学びの見通しをもち成長を実感できるような工夫

巻頭オリエンテーションのページでは、道徳科で学ぶことや学び方をわかりやすく示し、生徒が主体的に学習を進められるようにしました。

別冊「道徳ノート」を活用することで、学習を振り返り、生徒自身が中学校3年間の成長を実感できるようにしました。



(p.2 ~ 3)

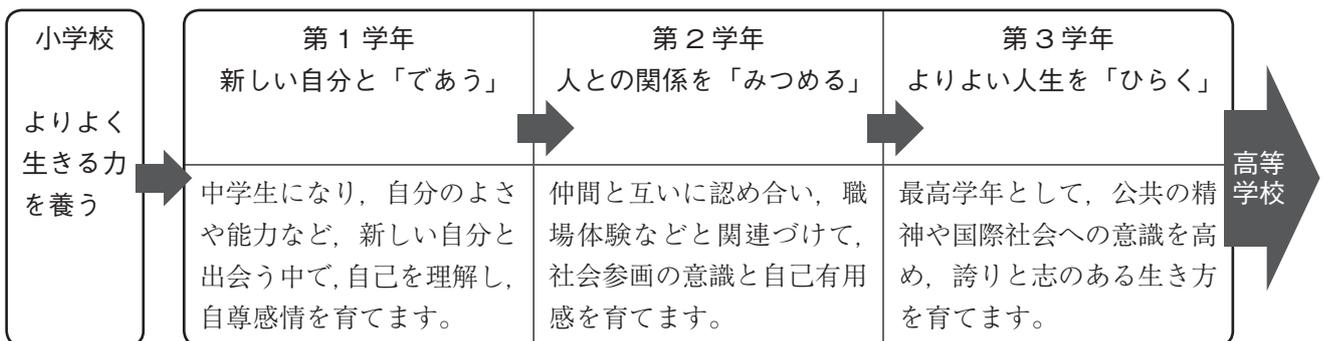


(p.8 ~ 9)

自分にプラスワン
道徳科の学びをプラス志向で積み上げ、自分に自信がもてるように！

3 「将来にわたって生き方を追求したい！」 ——系統性への配慮，小，中，高連携

中学校3年間の発達の段階を考慮し、各学年に大テーマを設定しました。特にキャリア教育の理念に配慮した小，中，高等学校連携についても、教材の選定や配列において工夫を加えました。



基本方針
2

授業に躍動感を！

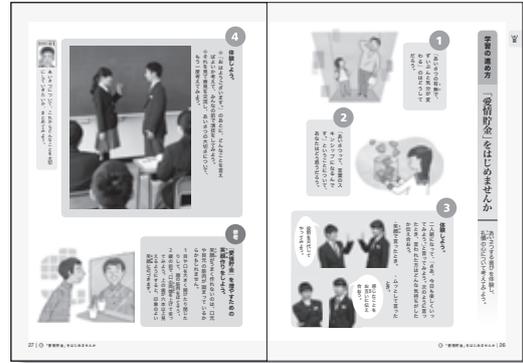
——「考え、議論する」道徳科となるよう、対話的な学びをサポートします。

1 主体的・対話的で深い学びの実現 ——「アクティブ・ラーニング」と問題解決的／体験的な学習

「問題解決的な学習」「体験的な学習」の手法に適した教材には、生徒の学びと教師の指導の参考例となるよう、「学習の進め方」を設けています。そして別冊「道徳ノート」を併用することで言語活動を充実し、多面的・多角的に「考え、議論する道徳」を実現できるようにしています。



(p.152 ~ 153)



(p.26 ~ 27)

基本方針
3

社会を創造する道徳教育を！

——「いま・これから」の社会の課題にしっかり対応し、深い学びをサポートします。

1 現代的・社会的課題への対応

これからの社会を創造していく生徒たちが、自分の生き方に誇りをもち、他人ごとではなく自分のこととして考えられるようにするとともに、教育基本法の理念に呼応して、「『いじめ』と向き合う」「安全に生きる」「情報モラル」などの課題について、重点的に教材を選定しました。

① 「いじめ」と向き合う

**いじめを人間として許さない
誇りある生き方を。**

教材とコラム（プラットホーム）を組み合わせることで、いじめ防止の内容を集中的に扱い、確実な定着を図れるようにしています。プラットホームには、人間として誇りある生き方をするために多面的・多角的にいじめについて考えるページや、その知識を実践につなげられるよう配慮したページなどを適宜配置し、いじめの防止に資する構成にしています。

5 さかなのなみだ

（プラットホーム）「いじめ」って何？

6 近くにいた友

（プラットホーム）怒りの感情と上手につき合おう

7 トマトとメロン

15 二人の約束

（プラットホーム）心の様子をチェックしよう

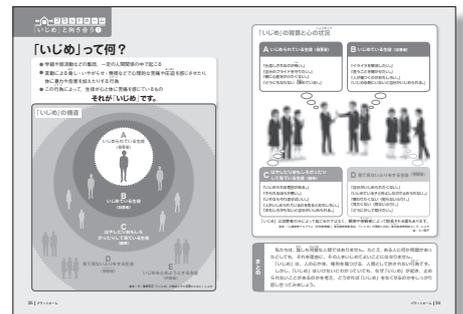
16 むかで競走

29 旗

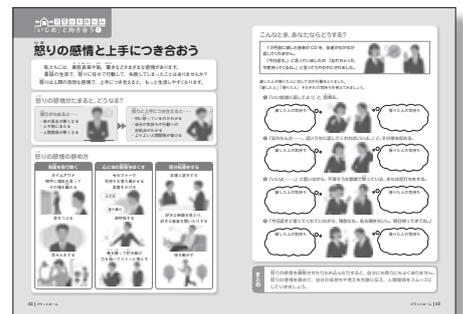
30 自分だけ「余り」になってしまう……



(p.30 ~ 31)



(p.34 ~ 35)

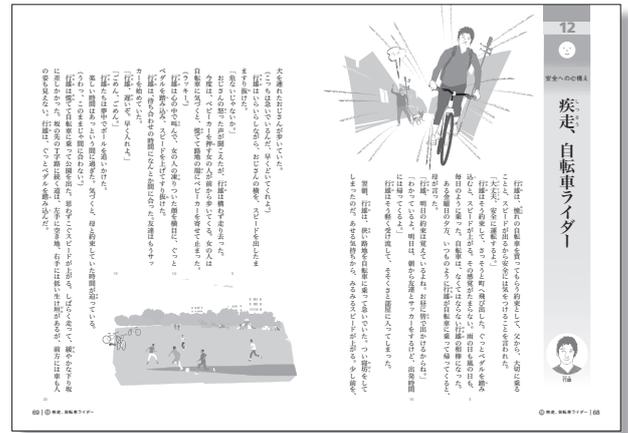


(p.42 ~ 43)

②安全に生きる（防災，防犯，交通安全）

安心・安全を意識した日常生活を。

- 12 疾走，自転車ライダー
（プラットホーム）自転車の乗り方を考えよう
- 23 震災を乗り越えて—復活した郷土芸能—
- 27 ゆうへ—生きていてくれてありがとう—



(p.68 ~ 69)

③情報モラル

節度ある情報活用力を。

- 6 近くにいた友
- 17 使っても大丈夫？
（プラットホーム）よりよい情報社会のために



(p.92 ~ 93)

④環境（社会の持続可能な発展）

社会や自然環境について考える姿勢を。

- 21 富士山から変えていく
- 22 木の声を聞く
- 23 オーロラ

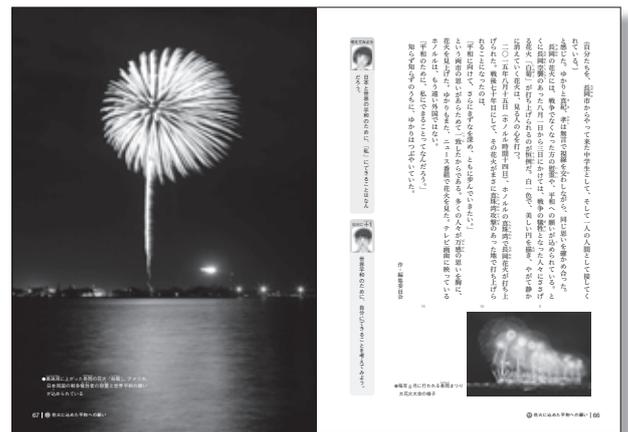


(p.116 ~ 117)

⑤伝統・文化，国際理解

伝統や文化を受け継ぎ，国際社会との協調を。

- 11 花火に込めた平和への願い
- 19 違いを乗り越えて
- 20 あふれる愛
- 25 震災を乗り越えて—復活した郷土芸能—
- 26 奈良筆に生きる
（プラットホーム）日本の伝統を受け継ぐ
- 31 篠崎街道



(p.66 ~ 67)

2. 対照表

教育基本法第2条の教育の目標に基づき、多面的・多角的な知識と教養、豊かな情操と道徳心、伝統・文化を大切に
する心、自己を見つめ社会を創造する豊かで広い公共の精神を育むため、多様な教材の選択と構成に意を用いました。

構成・内容		特に意を用いた点や特色	第2条との 対照	該当箇所
巻頭 ページ	もくじ、オリエンテーション	もくじでは、教材の配列や教科書の使い方などを生徒にわかりやすく示しました。	第1, 2号	表見返し～p.1
		オリエンテーションページでは、「道徳科で学ぶこと」で学習内容やそのねらいなどを端的に記し、「道徳科での学び方」で学習方法を解説し、学習の支援になるよう配慮しました。	第1, 2号	p.2～5
本文	共通事項	教材で扱う題材は、発達の段階をふまえながら、家庭、学校、社会の幅広い分野のものをバランスよく配列しました。	第1号	全 般
		学習指導要領への準拠性を重視し、道徳的価値に関するすべての内容項目を扱いつつ、重点とすべき内容項目を集中的に取り上げました。	第1～5号	
		道徳教育における現代的な課題を重視し、いじめの防止、生命の尊重、社会参画、伝統と文化、国際理解などの内容や道徳的価値を取り扱う教材に重きをおきました。	第2～5号	
		正確な記述で、生徒が読み取り易く、教師にとっても指導しやすい紙面構成としました。	第1号	
	問題解決的な学習の進め方	問題解決的な学習に資するように、主体的に道徳的な問題をとらえ、多面的・多角的、かつ解決に向けて考えていくステップを例示し、道徳的实践意欲を育成するための手引きとなるページを提示しました。	第1～3号	p.60～61など
体験的な学習の進め方	体験的な学習に適している教材には、動作化や役割演技などの体験的な方法を通して自分との関わりで道徳的価値についての考えを深めるためのページを提示しました。	第1～3号	p.26～27など	
コラム	プラットフォーム	教材で示される内容などをより多面的、多角的に考えることができるページとして、関係する教材の前後に配置しました。	第1～5号	p.12～13など
コラム	参 考	教材理解を補助する参考資料として、関係する教材の後に配置しました。	第1～5号	p.11など
別 冊	道徳ノート	別冊として、道徳ノートをつけ、書く活動を通して生徒が思考をより深めることができるようにするとともに、教師の指導や評価にも生かすことができるよう工夫しました。	第1, 2号	別 冊

3. 上記以外に特に意を用いた点や特色

1 特別支援教育の観点から見た配慮

すべての生徒が等しく学べるように、特別支援教育の観点から、カラーバリアフリーを含めたユニバーサルデザインなど、次のような配慮をしました。

- UD フォント（ユニバーサルデザインに対応した書体）を用い、文字の大きさ、罫線や囲みの使い方、色遣いなど、レイアウトを工夫し、判読しやすくしました。
- 中学校で学習する漢字には振り仮名をつけました。

2 保護者への配慮 ——家庭、地域との連携

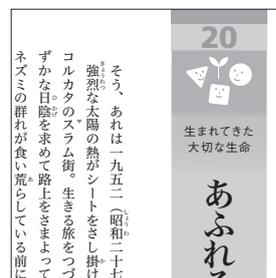
「道徳科」がどのような教科なのか、またこの教科書でどのようなことを学ぶのかを、巻頭などのメッセージ性の強い紙面で保護者にも伝え、学校・家庭・地域の連携を支援するようにしました。

3 地域社会への配慮 ——地域に根差した題材の選定・教材開発

日本の各地域の魅力的な題材を取り上げ、生徒が実感を伴って学習できるようにしました。

4 環境への配慮 ——環境にやさしい教科書作り

地球環境への負荷に配慮して、教科書用紙には再生紙を使用し、植物油インキを用いて印刷しました。



編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
29-65	中学校	道 徳	道 徳	第1学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
116 日文	道徳 725 道徳 726	中学道徳 中学道徳	あすを生きる 1 あすを生きる 1	道徳ノート

1. 編修上特に意を用いた点や特色

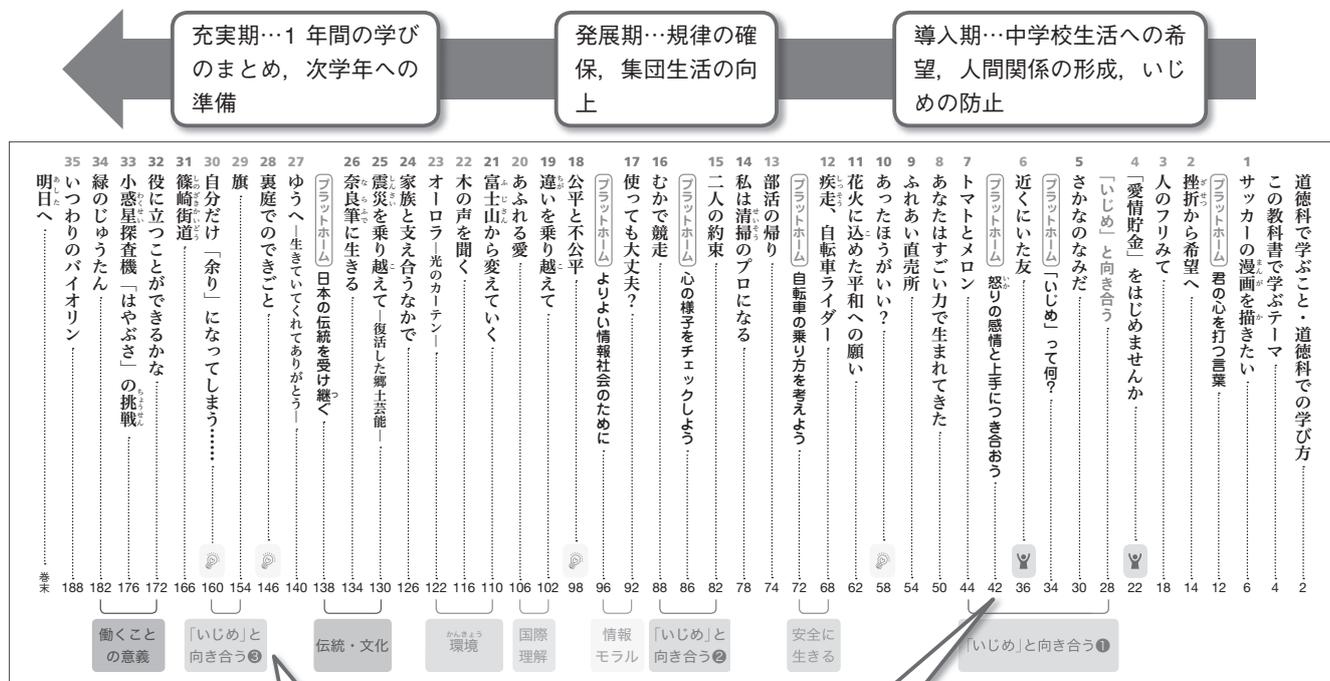
基本方針
1

主体的な学びを！

——自ら考え、学び、一人ひとりが誇りをもちた生き方ができるようサポートします。

1 学ぶべきときに、学ぶべきテーマを ——教材の配列、学校生活や他教科等との関連

道徳教育の「要」としての道徳科の特質を生かし、生徒の発達の段階や、他の教育活動などとの関連を踏まえ、「いじめ」や「安全」などのテーマを設定して教材を配列することにより、学ぶ「必然性」をもたせました。



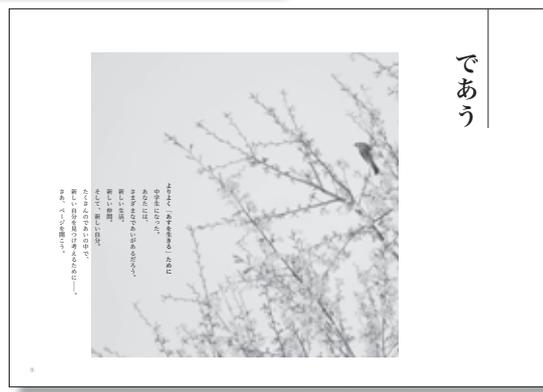
適切な時期にテーマと教材を配列し、見通しをもって学習できるようにしています。

重要なテーマには、教材とコラムを配置。生徒の実態に応じた授業を展開できます。

(表見返し～p.1)

第1学年の大テーマ：
新しい自分と「であう」

教科書の巻頭には学年の大テーマを掲載。
1年間の学びに期待をもち、さらに展望が見えるようにし、生徒の学ぶ意欲を引き出します。



(巻頭)

2 学びを心に刻む「道徳ノート」(別冊)

- ・別冊の「道徳ノート」にはすべての教材(コラムは除く)に対応したページを設け、発問例などを掲載しました。
- ・生徒が自ら考え、議論し、新しく発見した道徳的価値の理解や、他者から学んだ内容を書き留めることで、言語活動を充実できるようにしています。
- ・ノートに自分の考えなどを書くことで、道徳科の学びを積み重ね、生徒が自らの成長を実感し、自己評価を計画的・発展的にできる工夫をしています。また、教師にとっても生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握できるようにしました。
- ・友達の見解を記入する欄を設け、多面的・多角的に考えられるように配慮しました。



基本方針 2

授業に躍動感を!

——「考え、議論する」道徳科となるよう、対話的な学びをサポートします。

1 豊かな考えを引き出し、議論を活発にする構成 —— 学びを共有し多面的・多角的に考える基礎

生徒が取り組みやすく、また教師が指導・評価しやすくなるように、学習要素を適切に配置しました。

考えてみよう
考え議論し、ねらいに迫るための「考える価値のある」発問例です。

自分にプラスワン
自分を客観的に振り返り、学んだことを「前向きに生かす」ための発問例です。

主題名
この教材で「何を考えるのか」という主題が明確です。

おもな登場人物
登場人物を整理し議論の時間を確保できるようにしています。

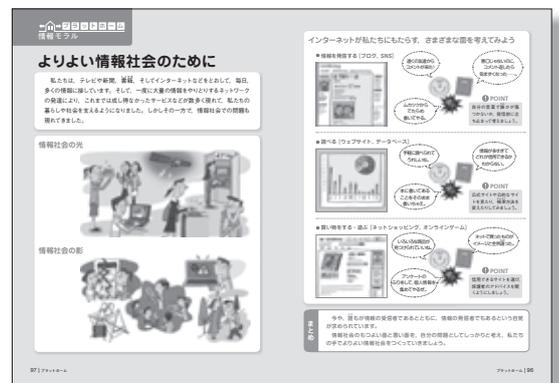
(p.90 ~ 91)

(p.88 ~ 89)

2 考えや生き方を広げ深めるコラム

教材と関連した内容や活動を扱ったコラムを適宜掲載しました。道徳科以外の教育活動とも関連づけて使用できます。

- ・「プラットフォーム」、「参考」
道徳的な問題をより広く深く、多面的・多角的に考えられる「プラットフォーム」と、学習内容の理解を助ける「参考」を掲載しています。
- ・「私の生き方」
様々な分野で活躍している方の生き方や、中学生への応援メッセージを掲載しています。



(p.96 ~ 97)

3 より効果的な授業を提案するデジタルコンテンツ

授業の導入などで活用できる動画資料や関連画像、挿絵などのデジタル教材を準備し、電子黒板等の ICT 機器でのスムーズな活用を実現しています。

社会を創造する道徳教育を！

—「いま」・「これから」の社会の課題にしっかり対応し、深い学びをサポートします。

1 重点化を図る内容の取り扱い

学習指導要領に示された内容すべての項目をもれなく扱うとともに、生徒の道徳性を育むため指導内容の重点化を図るべき内容には、学習指導要領「第1章 総則」に示された重点指導内容にふさわしい教材をそれぞれ複数配置しました。

重点化を図るべき内容（学習指導要領 第1章 総則 第4-3(2)）	教材
…自立心や自律性を高め、規律ある生活をする事	15 二人の約束 28 裏庭のできごと
…生命を尊重する心や自らの弱さを克服して気高く生きようとする心を育てること	8 あなたはすごい力で生まれてきた 20 あふれる愛 27 ゆうへー生きていてくれてありがとうー
…生命を尊重する心や自らの弱さを克服して気高く生きようとする心を育てること	2 挫折から希望へ 35 いつわりのバイオリン
…法やきまりの意義に関する理解を深めること	9 ふれあい直売所 17 使っても大丈夫？
…自らの将来の生き方を考え主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養うこと	14 私は清掃のプロになる 32 役に立つことができるかな
…自らの将来の生き方を考え主体的に社会の形成に参画する意欲と態度を養うこと	10 あったほうがいい？ 21 富士山から変えていく
…伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けること	25 震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー 31 篠崎街道 26 奈良筆に生きる
…伝統と文化を尊重し、それらを育ててきた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重すること、国際社会に生きる日本人としての自覚を身に付けること	11 花火に込めた平和への願い 19 違いを乗り越えて

2 現代的・社会的課題への対応

学習指導要領「第3章 特別の教科 道徳」で「配慮すべき事項」として示された事項をはじめ、次の事項に関しては、重要なテーマとして複数の教材を配置したり、ユニット化したりするなどの工夫をしました。

現代的・社会的課題（カッコ内はテーマ名）	教材
・いじめの防止（「いじめ」と向き合う）	5 さかなのなみだ 6 近くにいた友 7 トマトとメロン 15 二人の約束 16 むかで競走 29 旗 30 自分だけ「余り」になってしまう……
・科学技術の発展と生命倫理との関係／生命の尊厳（いのちの大切さ）	8 あなたはすごい力で生まれてきた 20 あふれる愛 27 ゆうへー生きていてくれてありがとうー
・情報モラル／情報化への対応（情報モラル）	6 近くにいた友 17 使っても大丈夫？
・将来の生き方（働くことの意義）	1 サッカーの漫画を描きたい 14 私は清掃のプロになる 22 木の声を聞く 32 役に立つことができるかな 33 小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦 34 緑のじゅうたん
・社会参画（つながりのある社会）	9 ふれあい直売所 10 あったほうがいい？ 18 公平と不公平 21 富士山から変えていく
・安全の確保（安全に生きる）	12 疾走、自転車ライダー 25 震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー 27 ゆうへー生きていてくれてありがとうー
・社会の持続可能な発展／自然（環境）	21 富士山から変えていく 22 木の声を聞く 23 オーロラー光のカーテンー
・伝統と文化（伝統・文化）	11 花火に込めた平和への願い 25 震災を乗り越えてー復活した郷土芸能ー 26 奈良筆に生きる 31 篠崎街道
・国際社会の平和と発展（国際理解）	11 花火に込めた平和への願い 19 違いを乗り越えて 20 あふれる愛
・先人の伝記（先人に学ぶ）	20 あふれる愛 26 奈良筆に生きる
・スポーツ（スポーツ）	1 サッカーの漫画を描きたい 34 緑のじゅうたん

教科書の特徴表 ※教科書の特徴を簡潔にまとめてあります。

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・教育基本法第2条の「教育の目標」を達成するため、同条第1項から第5項に示されるような人格の育成を目指した教科書としています。 ①広い知識・教養と豊かな人間性 ②人間尊重の精神と自主自律、勤労の精神 ③公正公平と公共心 ④自然愛護、環境保全 ⑤伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度と国際理解・貢献の心
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された道徳科の目標の実現を目指し、指導すべき事項として示された内容項目はすべて扱い、さらに重点事項や配慮・留意事項を重視しています。
	公正性	公正性	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の選定、記述に当たっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分、吟味・検証しています。
		正確性	<ul style="list-style-type: none"> ・検定基準等に照らして的確な内容であることを検証しています。
内容・系統性	発達の段階への配慮 (小、中、高連携)		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達の段階を考慮した内容とし、当該学年1年間、中学校3年間を見通した系統性に配慮しました。 ・「小、中、高」の連携にも配慮し、よりよく生きる喜びを実感し、国家・社会の一員として社会参画の意識を育てる内容としました。(p.14～17, p.58～61 など)
	配列・分量・他教科等との関連		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達の段階に応じて、内容と文字量を考慮しました。 ・他教科等の学習や、様々な活動との関係を考慮して配列しました。 ・学習計画や見通しが立てやすいよう一覧性のあるもくじにしました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が感動と共感をもって、興味・関心を高めることができるよう、生命の尊厳、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材を教材として用いました。 ・生徒が自主的、主体的に学びやすいよう、主題名と発問例を教材ごとに示しました。 ・「道徳ノート」(別冊)で学習を振り返り、生徒自身が中学校3年間の成長を実感できるようにしました。
	多様な学習の実現 (アクティブ・ラーニングの実現)		<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習に対応できるよう、「問題解決的な学習」「体験的な学習」のページには「学習の進め方」を例示しました。(p.26～27, p.60～61 など)
	重点課題	現代的・社会的課題への対応 (いじめ・情報モラルほか)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命の尊厳を基本に、「いじめの防止」「安全の確保(防災・防犯・交通安全)」「情報モラル」などの現代的、社会的課題への対応を重視した教材を用意しました。(p.28～49, p.68～73, p.92～97 など)
		伝統文化の尊重と国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統・文化の尊重と国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、他国の文化にも興味を持たせ、国際理解・貢献に関心を促す教材を用意しました。(p.102～109, p.130～139 など)
		社会の持続可能な発展	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、貧困、人権、平和、開発など、社会の持続可能な発展にかかわる問題についても、発達の段階に即して道徳的な観点から取り扱いました。(p.110～125 など)
その他	家庭学習への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳ノート」(別冊)は家庭学習との連携も図れるようにしました。 ・道徳科の学習のねらいや学び方を保護者へもメッセージとして発信し、学校、家庭、地域の連携を示唆しました。
	地域教材の活用・開発		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にとって特に身近に感じられる、地域の特色を生かした地域教材の活用、開発にも配慮しました。
	資料活用・情報活用・ICT活用		<ul style="list-style-type: none"> ・別途デジタル教材を提供する体制を整え、学習効果をより高められるよう配慮しました。
	特別支援教育の観点からの配慮 (CUDなど)		<ul style="list-style-type: none"> ・すべての生徒が等しく学べるよう、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインなどを採用し、特別支援教育の観点に配慮しました。 ・拡大教科書を制作します。
	判型		<ul style="list-style-type: none"> ・B5判を採用し、付属の道徳ノート(B5判)と併せて取り扱いやすくしました。
	文字・印刷・製本		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で学習する漢字には、すべてに振り仮名をつけました。 ・文字は、ユニバーサルデザインに配慮し開発されたUDフォントを使用しました。 ・本文用紙は十分な強度を有する軽量化した再生紙を使用し、表紙にはコート紙を用いて美感のあふれた外観にする予定です。 ・植物油インキを用いて印刷しました。 ・製本は堅牢なあじろ綴じとし、開きやすくしました。

2. 対照表

第1学年

図書の構成				学習指導要領の内容項目とキーワード		配当 時数	配当学期	
番号	ページ	テーマ	教材名					
1	6～10	働くことの意義 スポーツ	サッカーの漫画を描きたい	A-(4)	希望と勇気, 克己と強い意志	1	一学期 12時間 前期 16時間	
2	14～17		挫折から希望へ	D-(22)	よりよく生きる喜び	1		
3	18～21		人のフリみて	B-(6)	思いやり, 感謝	1		
4	22～27		「愛情貯金」をはじめませんか	B-(7)	礼儀	1		
5	30～33	「いじめ」と向き合う	さかなのなみだ	C-(11)	公正, 公平, 社会正義	1		
6	36～41	「いじめ」と向き合う 情報モラル	近くにいた友	B-(8)	友情, 信頼	1		
7	44～47	「いじめ」と向き合う	トマトとメロン	A-(3)	向上心, 個性の伸長	1		
8	50～52	いのちの大切さ	あなたはすごい力で生まれてきた	D-(19)	生命の尊さ	1		
9	54～57	つながりのある社会	ふれあい直売所	C-(10)	遵法精神, 公德心	1		
10	58～61	つながりのある社会	あったほうがいい?	C-(12)	社会参画, 公共の精神	1		
11	62～67	伝統・文化 国際理解	花火に込めた平和への願い	C-(18)	国際理解, 国際貢献	1		
12	68～71	安全に生きる	疾走, 自転車ライダー	A-(2)	節度, 節制	1		
13	74～77		部活の帰り	B-(8)	友情, 信頼	1		二学期 14時間 後期 19時間
14	78～81	働くことの意義	私は清掃のプロになる	C-(13)	勤労	1		
15	82～85	「いじめ」と向き合う	二人の約束	A-(1)	自主, 自律, 自由と責任	1		
16	88～91	「いじめ」と向き合う	むかで競走	C-(15)	よりよい学校生活, 集団生活の充実	1		
17	92～95	情報モラル	使っても大丈夫?	C-(10)	遵法精神, 公德心	1		
18	98～101	つながりのある社会	公平と不公平	C-(11)	公正, 公平, 社会正義	1		
19	102～105	国際理解	違いを乗り越えて	C-(18)	国際理解, 国際貢献	1		
20	106～109	いのちの大切さ 国際理解 先人に学ぶ	あふれる愛	D-(19)	生命の尊さ	1		
21	110～115	つながりのある社会 環境	富士山から変えていく	C-(12)	社会参画, 公共の精神	1		
22	116～121	働くことの意義 環境	木の声を聞く	D-(20)	自然愛護	1		
23	122～125	環境	オーロラー光のカーテンー	D-(21)	感動, 畏敬の念	1		
24	126～128		家族と支え合うなかで	C-(14)	家族愛, 家庭生活の充実	1		
25	130～133	安全に生きる 伝統・文化	震災を乗り越えて一復活した郷土芸能ー	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	1		
26	134～137	伝統・文化 先人に学ぶ	奈良筆に生きる	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	1	三学期 9時間	
27	140～145	いのちの大切さ 安全に生きる	ゆうへー生きていてくれてありがとうー	D-(19)	生命の尊さ	1		
28	146～153		裏庭のでできごと	A-(1)	自主, 自律, 自由と責任	1		
29	154～159	「いじめ」と向き合う	旗	B-(8)	友情, 信頼	1		
30	160～165	「いじめ」と向き合う	自分だけ「余り」になってしまう……	B-(9)	相互理解, 寛容	1		
31	166～170	伝統・文化	篠崎街道	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	1		
32	172～175	働くことの意義	役に立つことができるかな	C-(13)	勤労	1		
33	176～179	働くことの意義	小惑星探査機「はやぶさ」の挑戦	A-(4)	希望と勇気, 克己と強い意志	1		
34	182～187	働くことの意義 スポーツ	緑のじゅうたん	A-(5)	真理の探究, 創造	1		
35	188～191		いつわりのバイオリン	D-(22)	よりよく生きる喜び	1		
計						35		

[備考]

・表の「学習指導要領の内容項目とキーワード」は学習指導要領第3章第2の内容を表す。Aは「主として自分自身に関すること」, Bは「主として人との関わりに関すること」, Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」, Dは「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」を示す。